

式辞

穏やかな春の日差しが降り注ぎ、ここ西宮の地、夙川、甲山の桜もすでに満開をすぎ、目にも一段と鮮やかな季節を迎えました。本日、この佳き日、ここに、平成三十年度 兵庫県立西宮甲山高等学校第36回入学式を挙行できますことは、誠に大きな喜びであります。この希望にあふれた日に、公私ご多用の中、ご臨席賜りました、ご来賓の方々や保護者の皆様方に、高いところからではございますが、厚く御礼申し上げます。

さて、ただ今入学を許可いたしました二百名の皆さん、ご入学おめでとうございます。私ども教職員、在校生一同、心から祝福し歓迎します。しかし、この場にいることができるのは、皆さんを慈しみ、育ててこられた保護者の方をはじめ、多くの人々の力添えがあったことに対して、感謝の気持ちを忘れてはなりません。また、皆さんの中には、本校が第2志望だという人も少なくはありません。しかし、甲高が第1志望でも涙をのんだ人がいることも忘れず、その分まで本校での学校生活を大切にしたいと思えます。しっかり頑張れば、甲高でよかったと心から思えるようになるはずですよ。

さて、西宮甲山高校は、「己を究め、ふれあいのなかに、明日を拓く」という校訓をまさに基として、豊かな自然のもと地域に密着した学校であります。そのような中で、私たち教職員と在校生は、森の学校だからできることがある、小さな学校にしかできない教育がある、を合い言葉に、「阪神間でオンリーワン」の魅力ある学校づくりを教職員・在校生一丸となって行っています。例えば、現在、本校では少人数クラス展開を実施しています。定員二百人、通常は五クラス規模の学年ではありますが、本校では六クラスに編成し直し、ホームルームや授業を行うことで、きめ細やかな指導を行っています。クラスが増えた分は、本校職員の授業や仕事が増えますが、生徒のためになるなら、労苦をいとわず頑張っていく所存であります。また、豊かな自然を生かした本校独自の設定科目や、特色ある選択科目を用意しています。さらに、オリエンテーション合宿、西宮南高校との運動部定期戦、西宮市と友好都市協定を結ぶ奄美大島への修学旅行など、さまざまな魅力的な学校行事も、皆さんを待っています。ぜひ積極的に参加し、高校生活を大いに楽しんでいただけたらと思います。

さて皆さんはそのような甲高への入学にさいし、喜びと、これから始まる高校生活への少しの不安、そして将来への大いなる希望に胸を膨らませていることでしょう。そのような高校生活のスタートにあたり、校長として基に沿って、お願いをいたします。

基の一つ目は、「己を究め」です。それは、新しく出会う何かに積極的に挑戦、チャレンジしてほしいということです。それは難しそうだが、自分には無理だろう、と、できることしかない、ではいつまで経っても、今までの自分と同じまま、成長することがありません。クラブ、生徒会、ボランティア、そのほか、学校外の活動も含めて、どうしようかな、自分にできるかなと悩む前に、ぜひ挑戦、チャレンジしてみましょう。勉強もそうです。勉強に自信の無い人もいますが、予習復習は絶対やるとか、提出物は100パーセント出すとか、目標を立て、その実現に挑戦、チャレンジしてみましょう。もちろん、すぐにあきらめてしまっただけは、挑戦でもチャレンジでもありません。努力とその継続が必要なのは言うまでもありません。できるかできないかではありません。やるかやらない

いかです。

基の二つ目は、「ふれあいのなかに」です。皆さんには本校でたくさんの仲間との絆を作ってほしいと思っています。仲間と協力して物事を成し遂げる、切磋琢磨しながらお互いに高みへ登る、困ったときには相談したり、将来の夢を語ったりするなかで友情をはぐくむことができたなら、皆さんの人生はたいへん豊かなものになるでしょう。1人1人の努力の積み重ねは、 $1+1+1=3$ の足し算ですが、みんなの力を合わせると、時には $2\times 2\times 2=8$ のかけ算で表わされるように相乗効果を生むこともあります。逆に、1人が協力しなかったがために $2\times 2\times 0=0$ と失敗することもあるかもしれません。

また先生方との絆も大切にしてほしいと思っています。私たち教職員一同は、生徒の皆さんの夢の実現のために、努力を惜しまない所存です。先生の話をしっかり聞き、その指導に従うこと、わからないことは積極的に聞くことを通して先生方との絆を深めてほしいと思っています。

基の最後は「明日を拓く」です。皆さんが卒業後、生きていく社会は、「予測がし難い社会」といわれています。そこでは、これまでのように知識、技能を身につけるだけでなく、人が困難な場面に直面したとき、身につけた知識や技能を、どのように活用すれば、その場面を切り開いていけるか、そんな活用する力や、考え抜く力が求められています。言い換えれば「想定外にさえ対応できる力」が求められるということでしょうか。どのようにしてその力を身につけるか、正解はありませんが、ふれあいの中に、己を究めることすなわち、仲間と絆を結び、様々なことに挑戦、チャレンジすることは、その力を身につける最も近道かもしれません。

さて、これまで長ききにわたって慈しみ育んでこられました保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。それは同時に、義務教育を終えられたということでもあり、感激もひとしおかと拝察いたします。ですが、まだまだ生徒は子どもであり、皆様にはこれからもとして、お願いしたいことがございます。私たちは本日からお子様をお預かりし、三年後には大きく成長した姿で、卒業生として送り出したいと、強く願っています。しかし、教育は学校だけで、できるものではありません。まずは、学校とご家庭ができる限り同じ教育方針で子育てを行うことが重要であると考えています。学校とご家庭で言われることが違うことほど子供たちにとって可哀そうなことはありません。どうか本校の教育方針をご理解いただき、ご協力を賜りたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。また、お子様が健康で規則正しい生活を送れるようサポートしていただきますことも重ねてお願い申し上げます。もし、何か心配なことがございましたら、遠慮なく担任までご連絡ください。

それでは、本日入学された生徒の皆さん全員が、この三年間に大きく成長し、社会に貢献できる人材となって羽ばたくことを祈念し、式辞といたします。

平成三十年 四月九日

兵庫県立西宮甲山高等学校長 山村修平